

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321

会長：鈴木廣利 副会長：桜井富郎 幹事：松葉隆夫 副幹事：後藤 功

第1642回

<ソング>われら日本のロータリアンの歌
<ソングリーダー>松葉 義之君



2005-2006年度 RIテーマ

超我の奉仕

カール・ヴァルヘルム・ステンハマー



心岳寺の池の蓮

写真提供：鈴木舜光君

■ 会長挨拶

鈴木 廣利君

昔から女心と秋の空といわれておりますが、最近では天気予報が当たる確立がとても悪いと思います。先週は成瀬君の計らいでツムラの静岡工場を拝見させていただきましたが、とてもきれいに整理されていて感心してしまいました。又、バスクリンが一秒間に2本ずつできると聞かされて、それでは外国、特に「東南アジアに輸出しているのですか」と聞いたら「全て国内向けです」との答えに日本中が緑の風呂になってしまうとちょっと心配になりました。

本日はこの土曜、日曜に行われました会長、幹事会、地区大会の報告を後程させていただきます。

■ 幹事報告

松葉 隆夫君

- ・米山梅吉記念館 館報が届いています。
- ・藤枝市国際友好協会より F I F S NEWSが届いています。

■ 出席報告

後藤 功君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
32/41 78.05%	28/41 68.29%

(1) 欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○飯塚君 ○石垣君 ○宮川君 ○望月俊君
浅川君 板倉君 鈴木舜君 仲田晃君
望月志君

(2) メイクアップ者

水野 義猛君(静岡東・静岡日本平)

■ スマイルBOX

後藤 功君

- ・夫人誕生祝ありがとうございました。ばあばも60才になりどんどん強くなりました。

小宮 弘一郎君

- ・女房の誕生祝いありがとうございます。年をとるごとに強くなっていきます。フー

又、先週は工場見学に来場いただきましてありがとうございました。

- ・入会29年を向え(健康で皆出席)出来感謝。

杉山 静一君

スマイル累計額 424,000円

■ 2005~06年度地区大会報告

会長 鈴木廣利君

10月の中旬と
いいますとさわや
かな清々しい季節
であります。当日
は台風の接近と前
線の停滞で朝から



雨模様の天気でした。15日、幹事の松葉隆君と会長幹事会並びにRI会長代理歓迎晩餐会に出席してまいりました。本日は地区大会の第1日目、2日目の催について報告させていただきます。

12:00より地区四大委員会が開かれましたが、私達は13:30からの会長、幹事会から出席いたしました。

開会点鐘後、国歌、ロータリーソング斉唱後、RI会長代理、来賓、役員紹介があり、ガバナー挨拶

拶で鈴木亀雄ガバナーは、ステンハマー国際ロータリー会長のService Above Self（超我の奉仕）というテーマはロータリーの永遠のテーマでありこれを山梨、静岡から今日集まって来られた1,700名に及ぶロータリアンが如何に実行していけるかを皆で考えて欲しいと強調しておられました。又、会長代理の竹山涼一氏はタカ子夫人と共に出席し、静岡は二度目だが、日本一の富士山は山梨、静岡両県に位置しているが、双方のロータリアンが協力し合い「超我の奉仕」を実践してほしいと語り、彼とステンハマー国際ロータリー会長が旧知の間柄なので本日RI会長代理として出席出来た旨おっしゃっておられました。14:30より協議報告事項に入り登録、資格審査、選挙、大会決議の各委員会の報告があり、地区八委員会の報告の後、拡大増強委員会のメンバーによる「新会員の退会防止の寸劇」が演じられたがこれは見事であった。私自身クラブに帰ったら会員の皆さんにもその中のいくつかの事例を話したいと思いました。その中のひとつに「人間は無視をした方とされた方では倍の違いがある」と感じました。

16:20より「なぜ今、野生イネ自生地保全なのか」との演題で佐藤洋一郎総合地球環境学研究所長と彫刻家の田辺光彰氏の講演があったが、それなりに参考になりました。閉会の言葉につづき、終わりの点鐘後18:00よりRI会長代理歓迎晩餐会があり、私自身久しぶりのパストガバナーの皆様共お会いする機会に恵まれました。さてつづいて第2回目のお話をしますが、2日目は私達のクラブからも多勢の方が参加していただきましてありがとうございました。会員の皆様にはそれぞれが地区大会に参加されその意義を感じたと思いますが、私は作家村松友視氏の講演の中の事でおもしろかったなと思った事を話してみたいと思います。彼はまず自己紹介でこんな事を云って皆をひきつけました。「私は上海育ちで、東京生まれそして清水出身です」解りますが？上海は両親が結婚して上海に住んでいたのです。その時出来て生れたのが東京、そして母親が亡くなって祖父に清水で育てられたとの事で、慶応義塾を出て82年に「時代屋の女房」で第8

7回の直木賞を受賞し、現代私と同じ65才です。彼の話の中に出てきた中で、これは使えると感じた事があります。

小さい時、遠足等に行くのにりんごを1個もらった母親が云うのに「りんごは皮と実の間に栄養がいちばんあるから皮さら食べなければダメですよ。」昔皆さんもよく云われた記憶があると思います。彼の話は続きます。よく考えてみるとその頃は感じなかったが、皮と実の間には何があるのだろう。なんにも無い「あれは多分間違っている。物を大切にし、無駄にしないためだったのだ。」と私は作家の話ではこれは眠くなるかもしれないと思っていましたが、仲々のもので退屈はしませんでした。講演後、GSEで来日した台湾チームの紹介、財団奨学生、学友会等の紹介があり、インターアクトクラブの紹介では私達のクラブ会員青島克郎君が活動内容、事業報告等に加えて各クラブの紹介をしました。16:00過ぎになりましたが、次期地区大会は甲府南がホストで2007年11月に甲府で開催されると発表されました。RI会長代理の所感に続き、鈴木ガバナーの謝辞があり、終りの点鐘は16:10であった。その後16:30から大懇親会が催されたが、その模様と私がお話した以外の補足を松葉幹事よりいたします。

幹事 松葉隆夫君

10月15日地区大会第一日目、会長幹事会が日本平ホテルで開催され鈴木会長と出席しました。会議の内容は会長から報



告がありますので省略させていただきます。10月16日第二日目藤枝駅8時30分集合。参加者は藤枝駅会員12名、西焼津3名、焼津駅1名、会場1名、順心高校から2名、交換学生カウエ君を含め総勢20名で向いました。午後より竹越夫人も出席して下さいました。会場は本会議は清水マリントーミナル、国際親善フォーラムは清水マリンビルで行われました。本会議は鈴木会長、国際親善フォーラムは青島インターアクト小委員長から報告がありますので省略します。終わりに

出席して頂いた方大変有り難うございました。

◎国際親善フォーラム報告

地区 I A 小委員会 委員長 青島 克郎君

毎年地区大会と
同時開催されます
国際親善フォー
ラムが10月16日
清水マリニビルで
開催されました。



国際親善フォーラムはインターアクト、ロータリーアクト、青少年交換学生、米山奨学生、ロータリー財団国際親善奨学生、及びGSEのメンバーが集いそれぞれのメンバー紹介、活動報告等を行うものです。例年は各グループ毎の配置ですが、今年度はグループ相互のコミュニケーションを図る意味合いから色々なメンバーが混ざっての席配置となりました。インターアクター25名、ロータリーアクター29名、青少年交換学生9名、米山奨学生16名、財団親善奨学生6名、GSE受け入れメンバー4名、派遣メンバー2名の91名に加え山静学友会代表や関係ロータリアンが出席いたしました。

当クラブでは順心高校インターアクトクラブの羽山部長と増田副部長の2名と当クラブ受け入れ交換学生のカウエ君を引率しました。

インターアクトではクラブの活動報告や年間事業の報告と参加メンバーの紹介を行い、特にアトラクションは用意されませんでした。例年と違い他のグループメンバーとの触れ合いも少しは出来たのではないかと思います。

ロータリーアクトはこのフォーラムの時間の前に会長会を開催し次年度代表などを決めたようで例年になく多くの参加者がありロータリーアクトの歌を斉唱し盛り上がっていました。

青少年交換学生はカウエ君の他5名と帰国した望月さん、深澤さんが出席しました。

来日した6名の学生のうちケリーさんだけが来日後7ヶ月が経過してかなり上手な日本語を話せるようになっていて他の5名との差が大きく同時に短期間での修得の早さに驚きました。メンバーの一人がサックスの演奏をしましたが緊張のためかあまり上手には出来ず少し気の毒

な場面もありましたが若い外国の青年達の奔放さのとけ込みの早さは同年代の日本の高校生と少し違うと感じました。

米山奨学生は16名の参加でしたが、アジア系の学生に混じってロシアからの学生もいて、アジア以外の国からの受け入れがもう少し増えると米山奨学生のイメージも変わってくるのではないかと感じました。

ロータリー財団親善奨学生は6名の参加で、当クラブからの推薦の久米さんも選考から漏れてしまったようにこの奨学生はかなりレベルの高い人達が厳選されていて将来の活躍が楽しみの人達ばかりです。

財団親善奨学生やGSEの派遣メンバーのOBで組織されている山静学友会は45年の歴史がありそのメンバーの中には世界中で活躍されている方が多くいるそうですが今フォーラムでは2名が参加し、ピアノの演奏も披露してくれました。

GSEは台湾より受け入れのハウン・チャン・リン リーダー他3名のメンバーの紹介と来年3月に台湾に派遣される2名の紹介がありましたが、来年度の参加希望者を募っている処だそうです。

今回の様な席の配置は今後も続け、テーブル毎の懇談の時間を少し設けても良いのではないかと感じました。



(担当／成瀬)